

民生福祉常任委員会審査日程

日 時 令和 8 年 9 月 2 日 (水)

午前 9 時から

場 所 第 2 委員会室

～審査内容～

- 1 議案第 4 4 号 令和 7 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (保年)
- 2 議案第 4 6 号 令和 7 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (保年)
- 3 議案第 4 5 号 令和 7 年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (高齢)
- 4 議案第 4 8 号 令和 7 年度山陽小野田市病院事業決算認定について (病院)
- 5 所管事務調査 病院事業報告について (病院)
- 6 所管事務調査 小野田地区保育所整備事業について (子育て)
- 7 その他

※ 1 審査の進行状況により、審査の前倒し、先送りを行うこともあります。

※ 2 審査は議案ごとに職員を入れ替えながら行います。

※ 3 審査内容 4、5 の審査は、午後 1 時から行います。

令和7年度

山陽小野田市国民健康保険特別会計

決算の概要

山陽小野田市福祉部保険年金課

令和 7 年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

【歳入】

(単位：千円)

科目名		R7年度決算額	R6年度決算額	増減	内容
1	国民健康保険料	926,268	936,629	△10,361	保険料収入
2	国民健康保険税	0	63	△63	
3	使用料及び手数料	459	505	△46	督促手数料等
4	国庫支出金	7,950	8,624	△674	子ども・子育て支援金制度に係るシステム改修
5	県支出金	4,854,316	5,147,438	△293,122	保険給付費等交付金
6	財産収入	1,803	505	1,298	預金利息
7	繰入金	737,611	801,735	△64,124	
	1 他会計繰入金	538,586	553,131	△14,545	一般会計からの繰入金
	2 基金繰入金	199,025	248,604	△49,579	基金から取り崩し
8	繰越金	162,980	94,754	68,226	前年度繰越金
9	諸収入	9,773	27,636	△17,863	療養費返還金等
合計		6,701,160	7,017,889	△316,729	

令和 7 年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

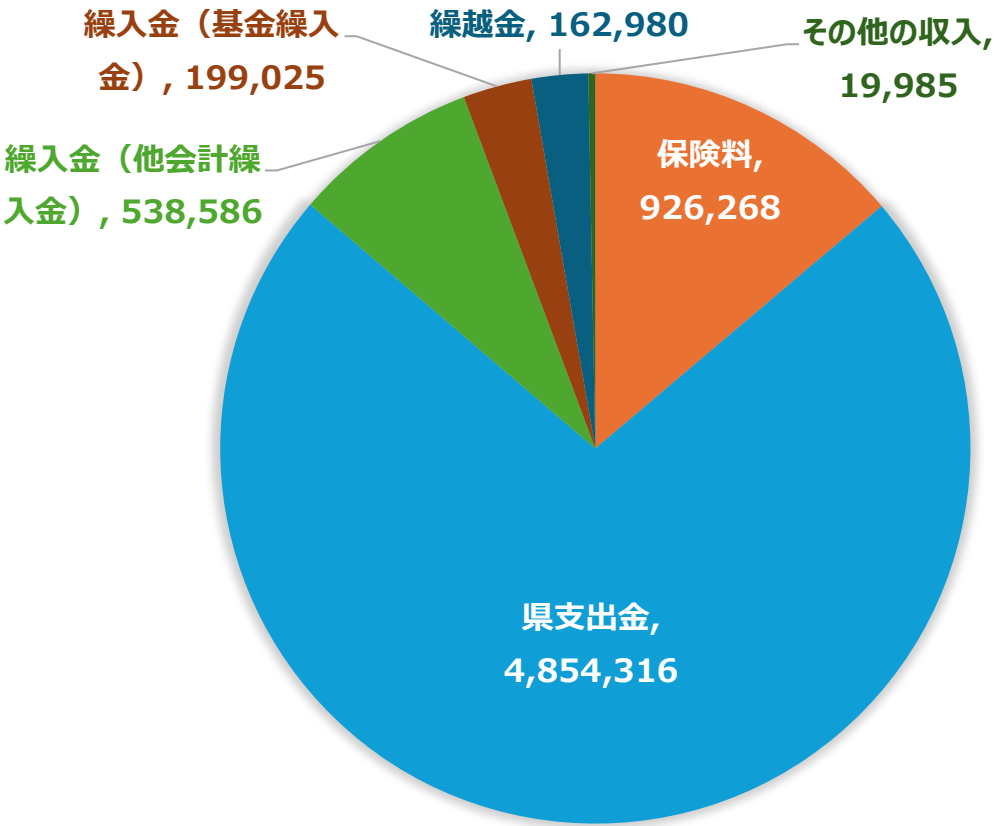
【歳出】

(単位：千円)

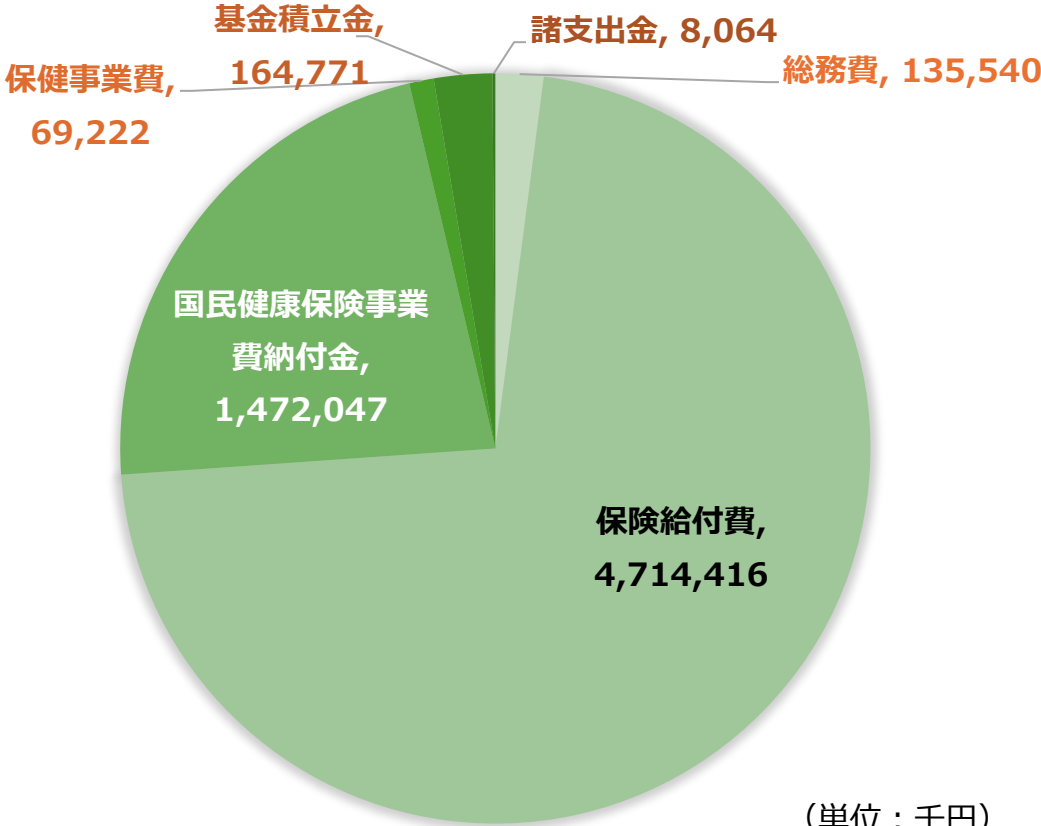
歳 出		R7年度決算額	R6年度決算額	増減	内容
1	総務費	135,540	135,443	97	職員給与費、事務費
2	保険給付費	4,714,416	4,977,311	△262,895	
	1 療養諸費	4,063,618	4,266,162	△202,544	保険者負担分医療費
	2 高額療養費	635,990	697,945	△61,955	高額療養費
	3 移送費	0	0	0	移送費
	4 出産育児諸費	10,558	8,504	2,054	出産育児一時金
	5 葬祭諸費	4,250	4,700	△450	葬祭費一時金
	6 傷病手当金	0	0	0	傷病手当金
3	国民健康保険事業費納付金	1,472,047	1,546,896	△74,849	県に納付する事業費納付金
4	保健事業費	69,222	68,430	792	
	1 保健事業費	19,481	18,075	1,406	がん検診、脳ドック等
	2 特定健康診査等事業費	49,741	50,355	△614	特定健診、特定保健指導
5	基金積立金	164,771	95,249	69,522	基金へ積立て
6	諸支出金	8,064	31,580	△23,516	保険給付費等交付金返還等
合計		6,564,060	6,854,909	△290,849	

令和7年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

歳入（総額 6,701,160千円）



歳出（総額 6,564,060千円）



(単位：千円)

●収支差引

歳入総額6,701,160千円－歳出総額6,564,060千円＝137,100千円（令和8年度へ繰越） 3

令和7年度の制度改革等

① 賦課限度額の引上げ

国民健康保険料の賦課限度額が引き上げられ、基礎（医療分）賦課額の65万円を1万円引き上げて**66万円**に、後期高齢者支援金等（支援金分）賦課額の24万円を2万円引き上げて**26万円**となりました。介護分の17万円は据え置きとなり、賦課限度額の合計額は現行の106万円から**109万円**となりました。

② 軽減判定基準額の引上げ

国民健康保険料の低所得者を対象とした軽減措置について、軽減判定所得の基準額が引き上げられ、軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において、被保険者数等に乗ずる金額を、5割軽減では29.5万円から1万円引き上げて**30.5万円**に、2割軽減では54.5万円から1.5万円引き上げて**56万円**となりました。

③ 子ども・子育て支援金制度創設に伴うシステム改修

国のこども未来戦略に基づく「加速化プラン」施策に必要な費用を全世代が支える仕組みとして、令和8年度から被保険者から支援納付金を徴収する「子ども・子育て支援金制度」が創設されるため、システム改修を行いました。

④ 被保険者証記号番号の変更

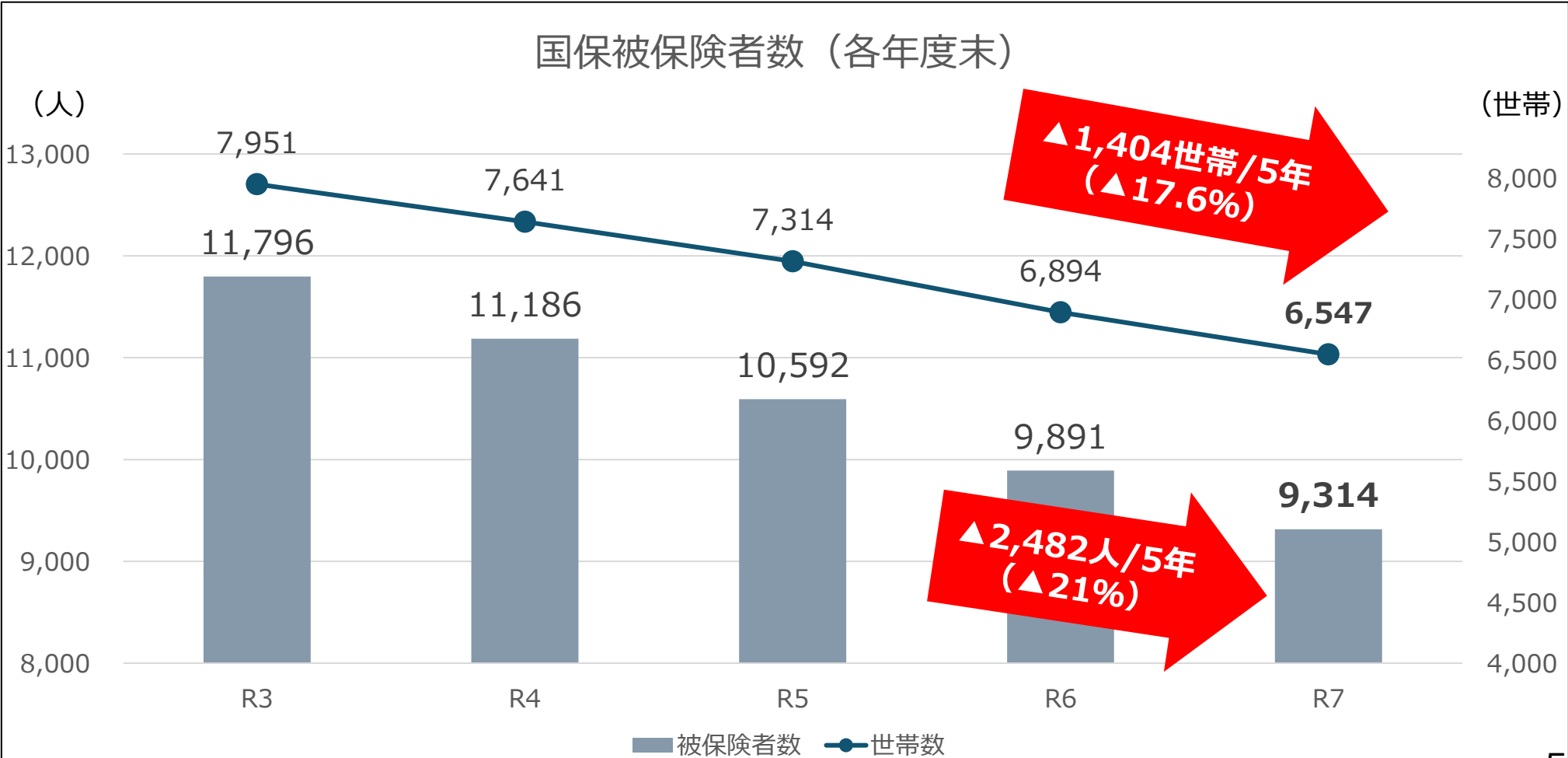
本市の国民健康保険の被保険者を管理する被保険者番号は、個人を単位とした番号により管理していましたが、標準準拠システムへ移行するため令和7年8月1日に被保険者番号を世帯番号へと変更しました。

⑤ マイナ保険証への本格移行後、初めての年次更新

令和6年12月2日をもって健康保険証の新規発行が終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みへ移行しました。令和7年度については、本格運用開始後初めての年次更新となることから、マイナ保険証の保有状況に応じて、資格確認書又は資格情報のお知らせを発行し、被保険者に混乱が生じることのないよう、制度の周知及び円滑な事務執行に努めつつ、更新手続きを実施しました。

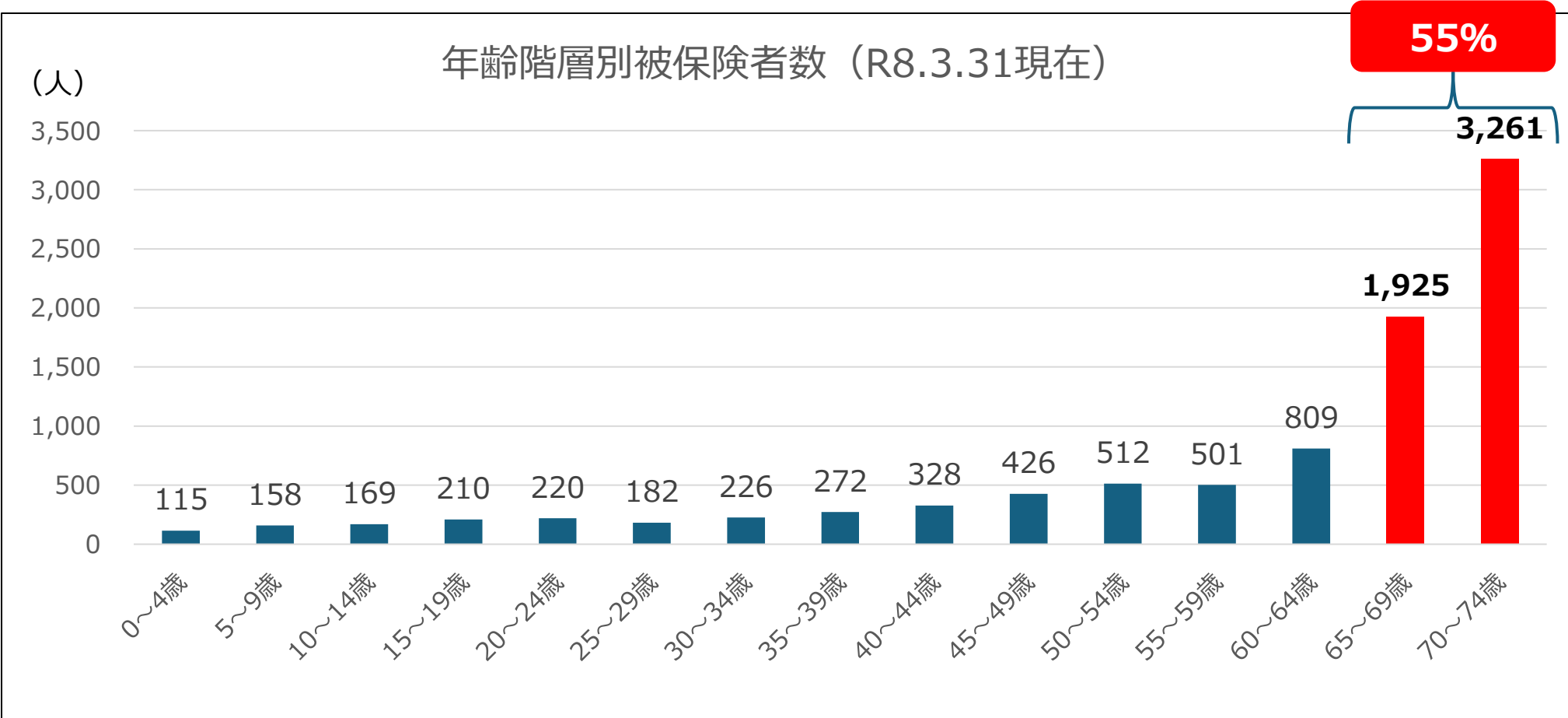
被保険者数・世帯数の推移

令和7年度末の被保険者数は、**9,314人**となり、前年度から**577人（5.8%）減少**しました。また、令和3年度から令和7年度までの5年間で、**2,482人（21%）減少**しています。世帯数も同様に減少しています。これは、高齢化により後期高齢者医療制度への移行が進んでいることが主な要因です。



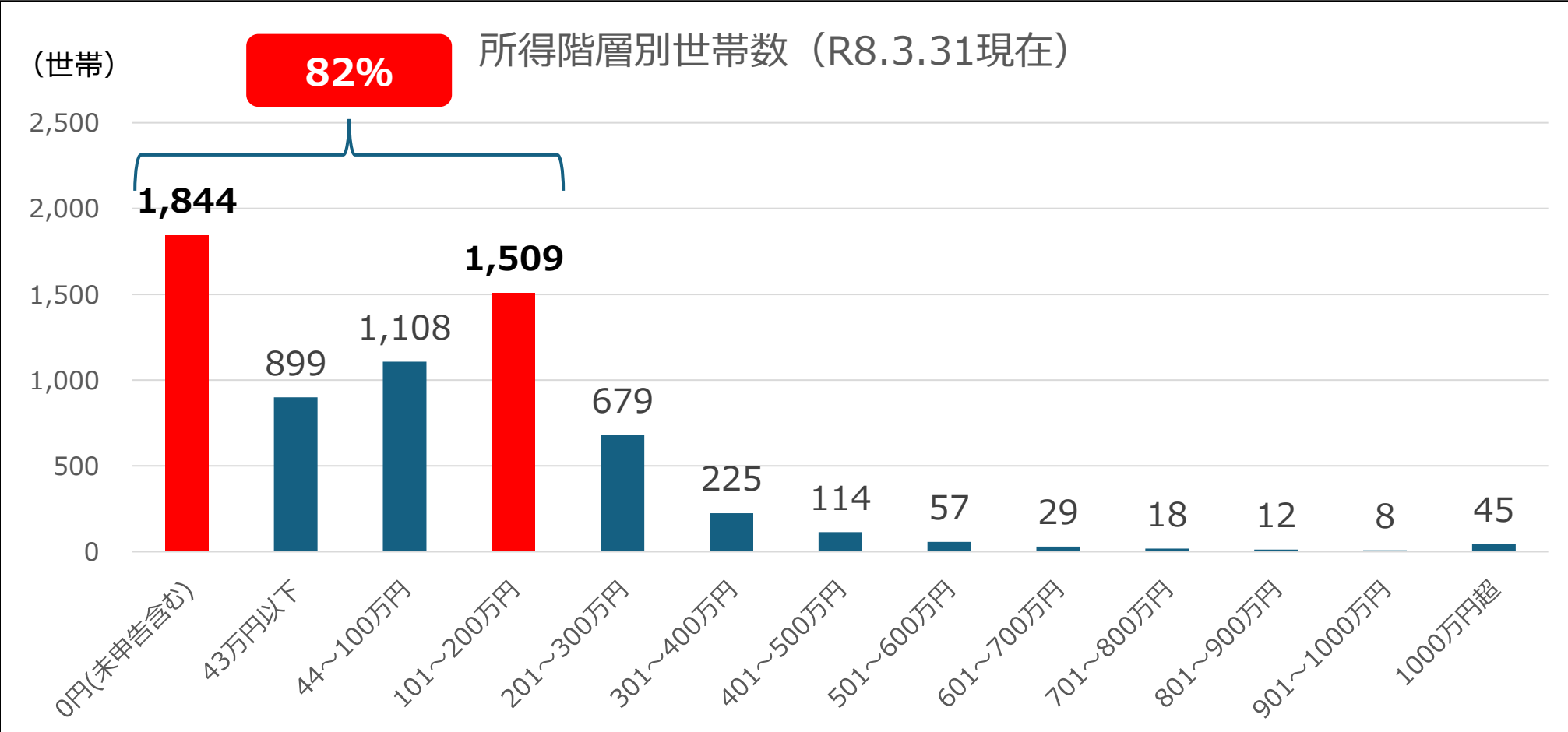
年齢階層別被保険者数

国民健康保険に加入している被保険者の年齢構成は、70～74歳が最も多く（3,261人）、次いで65～69歳（1,925人）となっています。
65歳以上の被保険者が、全被保険者のうち**55%**を占めています。



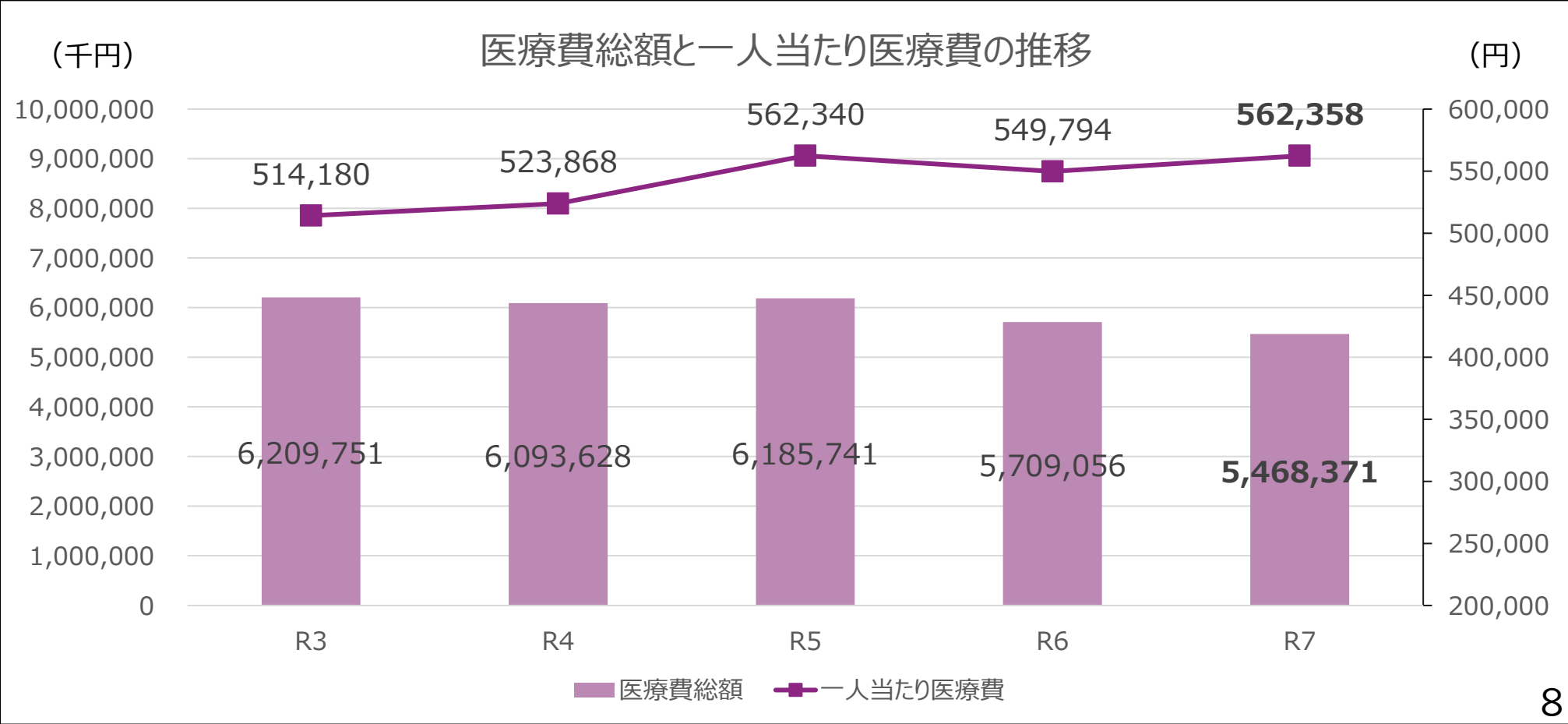
被保険者の所得階層別世帯数

国民健康保険に加入している世帯の所得階層は、所得が0円の世帯が最も多く（1,844世帯）、次いで101～200万円の世帯（1,509世帯）となっています。
所得が200万円以下の世帯が、全世帯のうち**82%**を占めています。



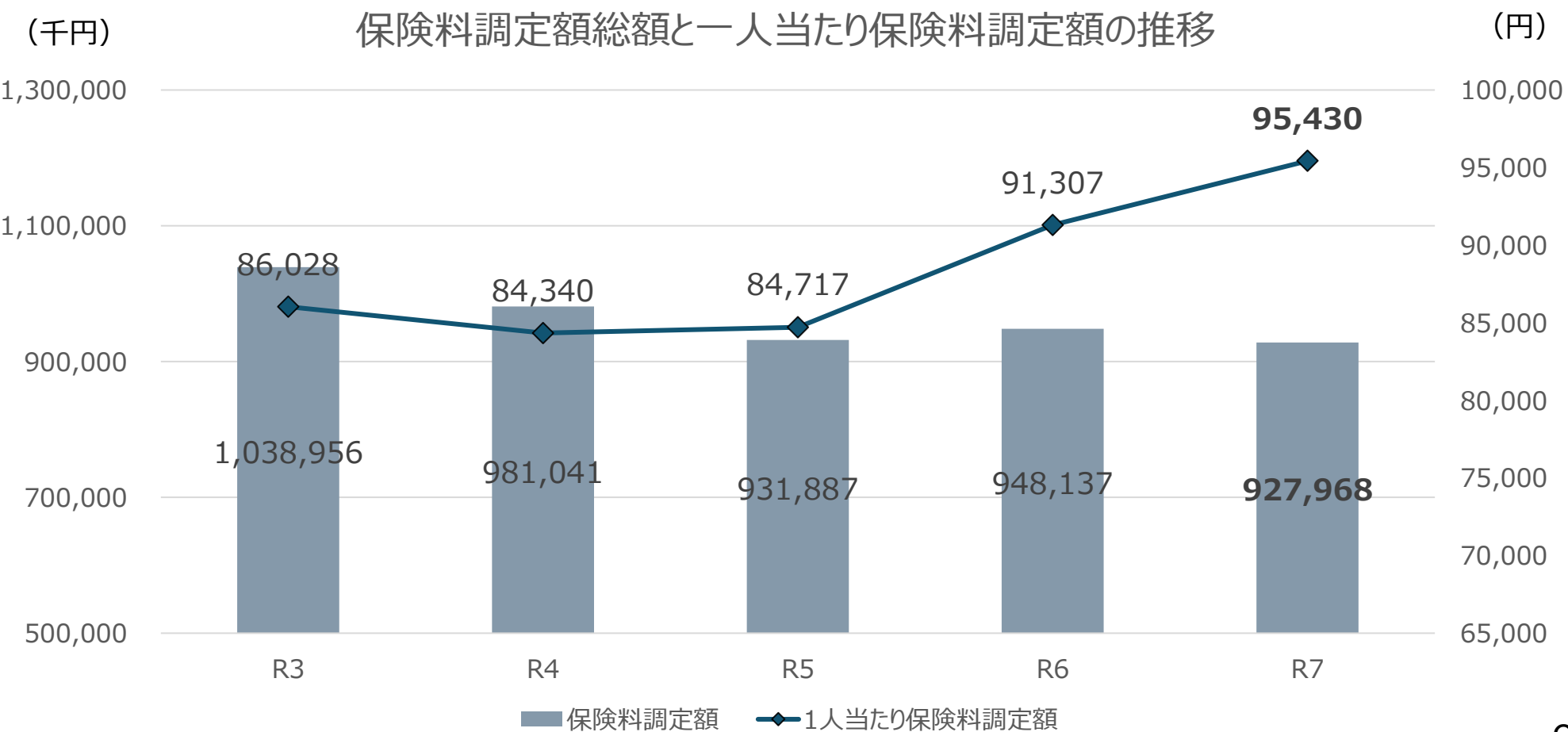
医療費の推移

本市国民健康保険に係る医療費総額（入院、外来、歯科、調剤などの医療に要した費用の総額）は、コロナ感染拡大後の令和3年度以降は横ばい傾向でしたが、団塊の世代の後期高齢者医療への移行に伴う被保険者数の減少により、令和6年度以降は減少に転じました。一方、一人当たりの医療費については、令和6年度は減少しましたが、年々増加傾向にあります。



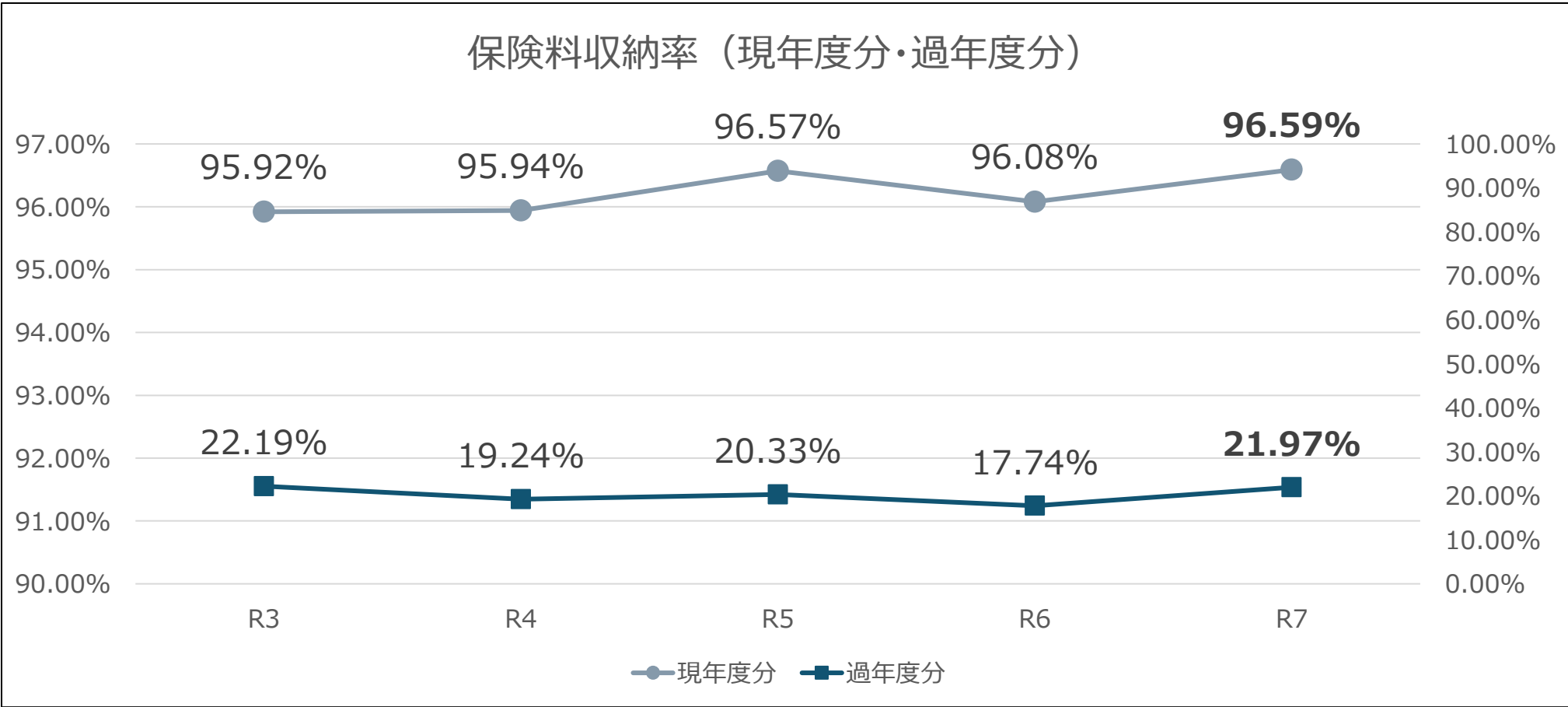
保険料調定額の推移

保険料調定額は、年々減少傾向にありましたが、令和6年度の保険料率改定の結果、一時的に増加したものの、被保険者数の減少の影響から、令和7年度は**927,968千円**、前年度比20,169千円の減となりました。一方、一人当たりの保険料調定額は、所得の増加や賦課限度額の引き上げなどの要因により年額**95,430円**、前年度比4,123円の増となりました。



保険料収納率の推移

令和7年度末の現年度分の保険料の収納率は、**96.59%**となり、前年度より0.51ポイント上がり、滞納者対策の取組や納付機会の充実を行ってきた結果、高い収納率を維持しています。
過年度分の収納率についても、4.23ポイント上がりました。



保険料率

令和6年度に保険料率の改定を行い、令和7年度は据え置きました。
今後も将来収支や基金残高等に注視し、適正な保険料率の設定を検討していきます。

区分		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R7年度	R8年度
医療分	所得割	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%
	均等割	23,400円	23,400円	23,400円	23,400円	23,400円
	平等割	21,000円	21,000円	21,000円	21,000円	21,000円
後 期 支援分	所得割	2.5%	2.5%	2.8%	2.8%	2.8%
	均等割	6,900円	6,900円	8,000円	8,000円	8,000円
	平等割	6,300円	6,300円	7,100円	7,100円	7,100円
介護分	所得割	2.0%	2.0%	2.4%	2.4%	2.4%
	均等割	6,300円	6,300円	7,700円	7,700円	7,700円
	平等割	4,200円	4,200円	5,100円	5,100円	5,100円
子ども分	所得割					0.3%
	均等割					1,156円
	平等割					988円

保険料の滞納状況等

<滞納世帯数（各年度5月31日現在）>

年度	R5年度	R6年度	R7年度
平均世帯数	7,536世帯	7,185世帯	6,786世帯
滞納世帯数	779世帯	709世帯	656世帯
割合	10.3%	9.9%	9.7%

<短期証・資格証・特別療養費の対象件数（各年度5月31日現在）>

年度	R5年度	R6年度	R7年度
短期被保険者証	196件	—	—
資格証明書	24件	—	—
特別療養費支給対象	—	58件	56件

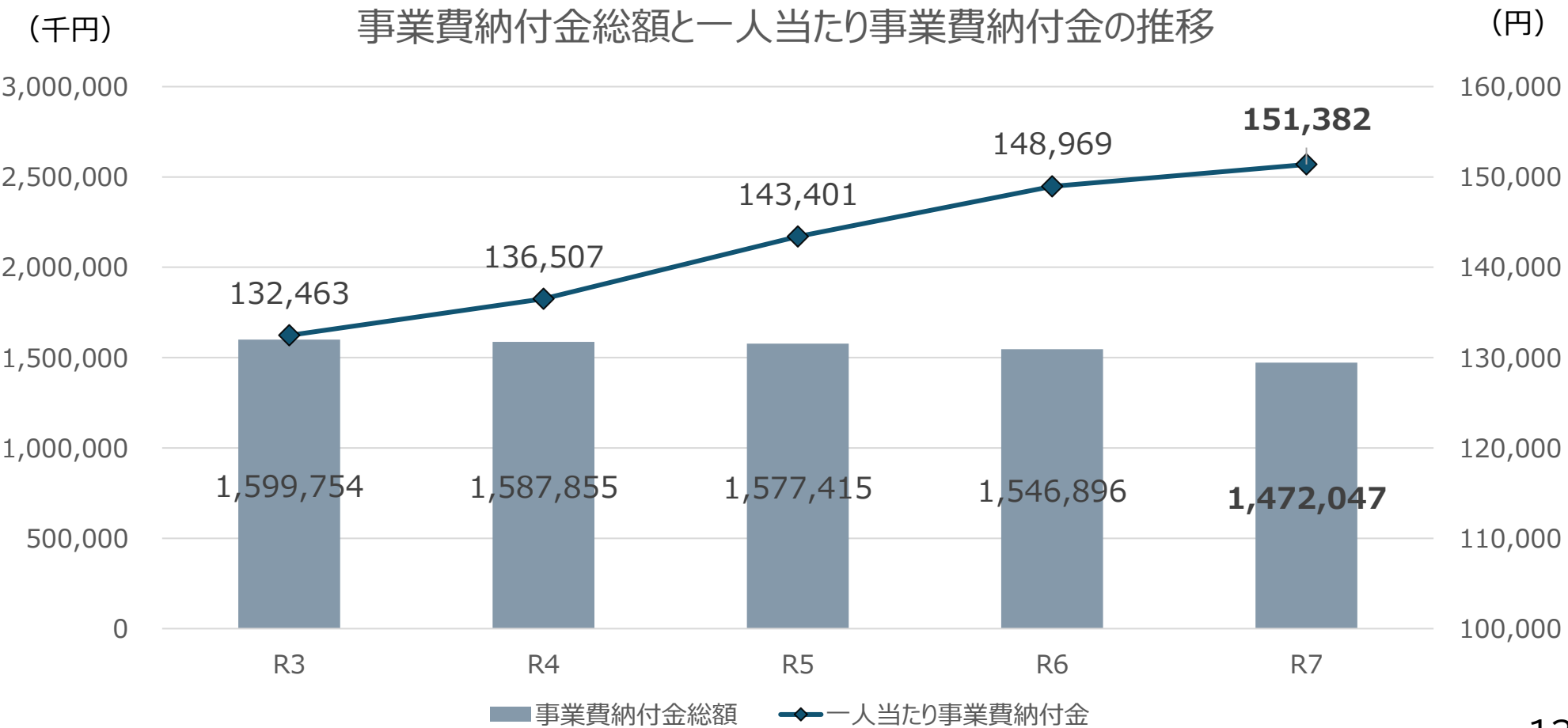
R6. 12以降、マイナ保険証への移行に伴い、短期被保険者証・資格証明書は廃止され、特別療養費の支給の仕組みに変更となりました。

<差押件数（各年度5月31日現在）>

年度	R5年度	R6年度	R7年度
預金口座	122件	23件	44件
生命保険・給与等	50件	30件	54件
合計	172件	53件	98件
差押金額	5,239,450円	2,185,866円	4,650,709円

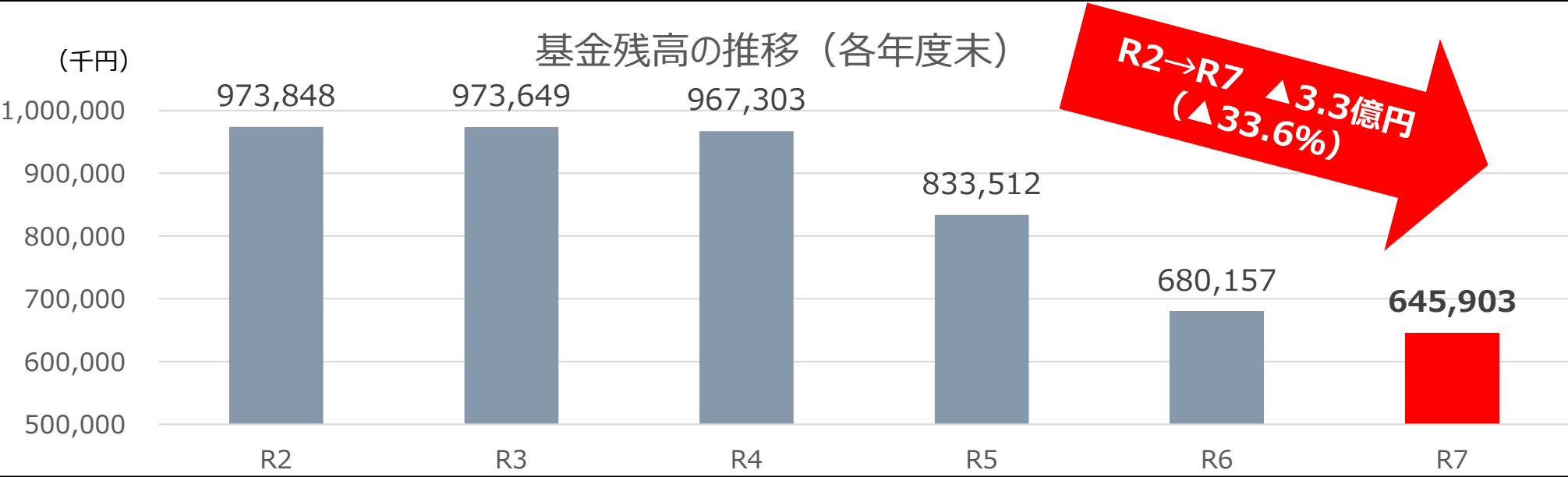
事業費納付金の推移

事業費納付金は、県が財政運営の責任主体として、市町が行う療養の給付等にかかった費用を全額負担する一方で、その財源として市町から徴収する納付金です。事業費納付金の総額は、被保険者の減少に伴い減少傾向にあるものの、被保険者一人当たりの事業費納付金の負担額で見ると、年々増加傾向にあります。



基金残高の推移

国保財政の安定化や被保険者の保険料の負担軽減等を目的とした国民健康保険基金の残高は、令和7年度末の残高は**6.4億円**で、令和2年度に9.7億円あった残高は、**3.3億円減少**しました。今後も、持続可能な国保財政の運営を行っていくため、基金残高に注視し、適切な保険料率の設定や効率的な事業運営を行っていく必要があります。



	R2	R3	R4	R5	R6	R7
積立額	129,629	172,741	170,814	96,946	95,249	164,771
取崩額	185,483	172,940	177,160	230,737	248,604	199,025
残 高	973,848	973,649	967,303	833,512	680,157	645,903

保健事業の実績

各種保健事業

4款 保健事業費 1項 保健事業費 1目 疾病予防費

項目	内容	実績等
検診事業	健康増進課が実施するがん検診等について、国保被保険者の検診料を一部負担します。	のべ受診者：6,187人
健康運動事業 (こくほシェイプアップジム)	健康づくりの一環として、市内のトレーニングジムの指導の下、生活習慣病の改善、運動習慣の確立を図ります。 ○実施場所：スポーツコアアルファ、ゼロワン、カーブス ○実施時期：6月、10月、2月（各8回） ○自己負担：1,000円	参加者数：99人
ジェネリック医薬品差額通知	ジェネリック医薬品について、被保険者に対し先発薬との差額通知書を送付し、意識啓発と利用率向上を図ります。	通知回数：年2回 通知件数：113件 利用率：94.7%
医療費通知	医療機関での受診状況を通知することにより、被保険者の関心を喚起して、医療費の適正化を図ります。	通知回数：年3回 通知件数：18,405件
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症の高リスク者を抽出し、かかりつけ医から推薦を受けた対象者に6か月間の保健指導を行うことで生活習慣の改善を図ります。	参加者数：7人
歯周病検診	30歳以上の被保険者を対象に、歯周病予防のため、歯周病検診を実施します。	受診者数：154人
脳ドック助成	脳ドックを受診する際の費用を助成することで、脳疾患の早期発見と医療費の適正化を図ります。 ○自己負担額：4,000円	助成人数：178人
保健事業推進支援事業	医師や保健師の専門的な知識を持つ事業者からの支援を受けることで、効果的・効率的な保健事業を展開し、医療費適正化を図る。	

保健事業の実績

特定健康診査

4款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費

40～74歳の加入者を対象に、生活習慣病の発症や重症化の予防を目的として医療保険者が実施する健診

<特定健康診査の受診状況>

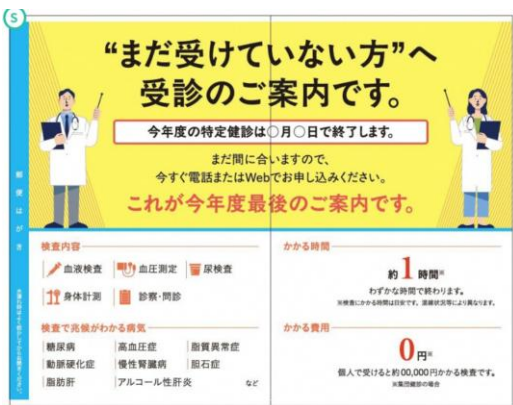
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度※
対象者数	9,051人	8,520人	7,991人	7,425人	6,987人
受診者数	3,406人	3,227人	3,159人	3,048人	2,898人
受診率	37.6%	37.9%	39.5%	41.1%	41.5%

※R7年度の確定値は、11月頃になる予定

<特定健康診査受診勧奨事業>

○特定健診の未受診者に対して、過去受診歴や健康意識などから対象者に合わせた勧奨通知はがきを送付（R7.6発送 5,800通）

○個別健診の医療機関の選択肢を狭め、安心感を持ってもらうため、対象者のかかりつけ医を記載した勧奨通知はがきを送付（R7.10発送 5,000通）



保健事業の実績

特定保健指導

4款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費

特定健診の結果、生活習慣病の発症リスクが高いと判定された対象者に、医師・保健師・管理栄養士等の専門家が、生活習慣改善のための行動計画を策定し、健康的な生活の維持ができる面接・指導等を行います。

<特定保健指導の実施状況>

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度※
対象者数	331人	283人	293人	282人	251人
実施者数	20人	17人	30人	50人	42人
実施率	6.0%	6.0%	10.2%	17.7%	16.7%

※R8.7.28時点 最終的な実施率は**21%**程度となる見込み

<特定保健指導利用勧奨事業>

①医療機関に委託

特定健診の結果説明の際に、特定保健指導の対象者となった人に対して利用勧奨をする業務を委託

- 受託医療機関：28機関
- 利用勧奨実施人数：41人

②民間事業所に委託

特定保健指導の対象となった人に対して電話勧奨を行い、意向があった人に対して保健指導を実施する。

- 委託事業所 NPO法人 ヘルスプロモーションネットワーク
- 利用勧奨実施人数：140人

令和 7 年度

山陽小野田市後期高齢者医療特別会計

決算の概要

山陽小野田市福祉部保険年金課

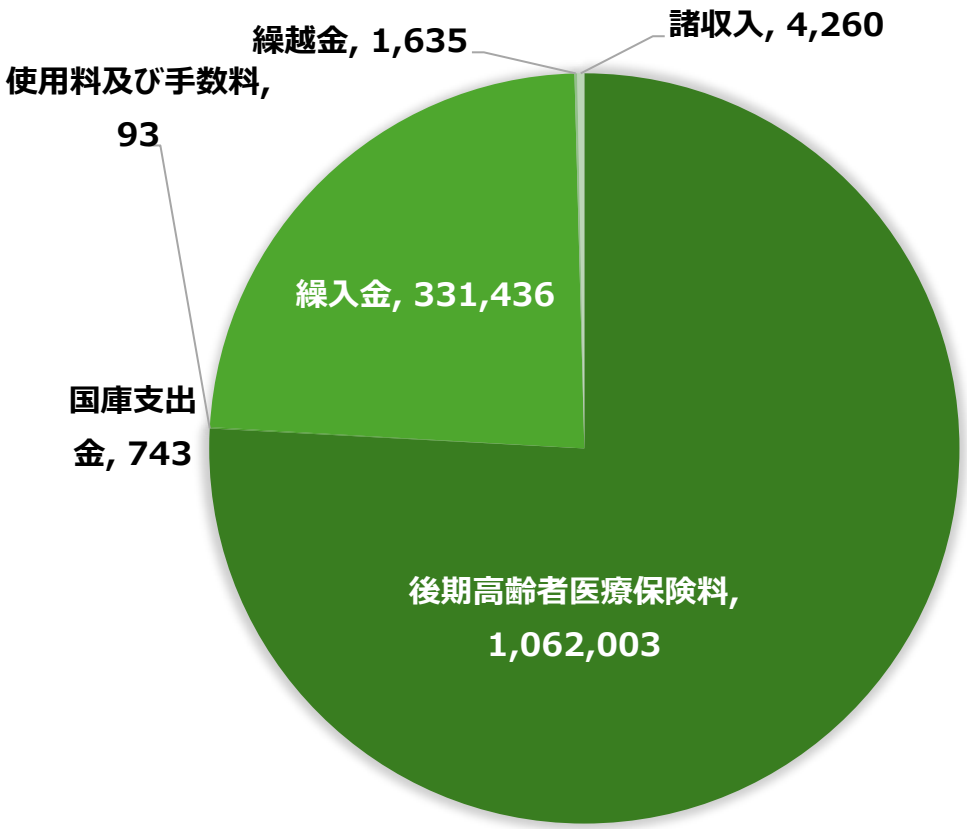
令和7年度 山陽小野田市後期高齢者医療特別会計決算

【歳入】		(単位：千円)			
予算科目		令和7年度決算額	令和6年度決算額	増減額	内 容
1	後期高齢者医療保険料	1,062,003	992,495	69,508	現年度分・過年度分保険料
2	使用料及び手数料	93	82	11	証明手数料、督促手数料
3	国庫支出金	743	—	743	子ども・子育て支援事業費補助金
4	繰入金	331,436	337,249	△5,813	国の基準に基づく一般会計繰入金（事務費等繰入金、保険基盤安定繰入金）
5	繰越金	1,635	1,151	484	前年度繰越金
6	諸収入	4,260	1,478	2,782	延滞金、保険料還付金ほか
合計		1,400,170	1,332,455	67,715	

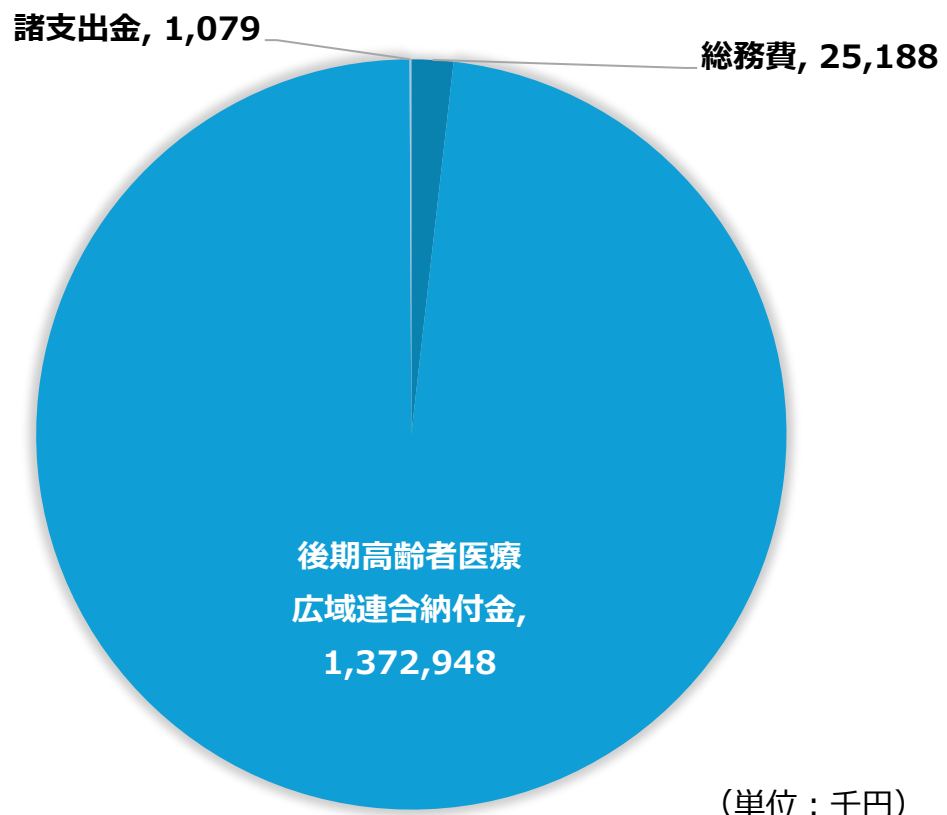
【歳出】		(単位：千円)			
予算科目		令和7年度決算額	令和6年度決算額	増減額	内 容
1	総務費	25,188	23,008	2,180	職員給与費等一般管理費、賦課徴収事務費ほか
2	後期高齢者医療広域連合納付金	1,372,948	1,307,019	65,929	事務費等負担金、保険基盤安定負担金、後期高齢者医療保険料納付金
3	諸支出金	1,079	793	286	保険料還付金ほか
4	予備費	0	0	0	
合計		1,399,215	1,330,820	68,395	

令和7年度 山陽小野田市後期高齢者医療特別会計決算

歳入（総額 1,400,170千円）



歳出（総額 1,399,215千円）



(単位：千円)

● 収支差引

歳入総額1,400,170千円－歳出総額1,399,215千円＝955千円（令和8年度へ繰越）

令和7年度の主な事業等

① マイナ保険証への移行に伴う「資格確認書」の発送 （事業費：5,299千円）

令和6年12月2日から健康保険証の新規発行が終了し、「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行しました。後期高齢者医療制度については、マイナ保険証への移行期間ということで、令和8年7月末までは全被保険者に対し、資格確認書を職権交付する暫定措置がとられました。

② 子ども・子育て支援金制度の創設に係るシステム改修 （事業費：744千円）

国のこども未来戦略に基づく「加速化プラン」施策に必要な費用を全世代が支える仕組みとして、令和8年度から被保険者から支援納付金を徴収する「子ども・子育て支援金制度」が創設されました。後期高齢者医療制度においても、令和8年度の保険料賦課から新たに「子ども・子育て支援納付金賦課額」として、均等割額と所得割額を賦課・徴収することになりました。当該制度の円滑な施行に向けて、令和7年度にシステム改修に着手しました。

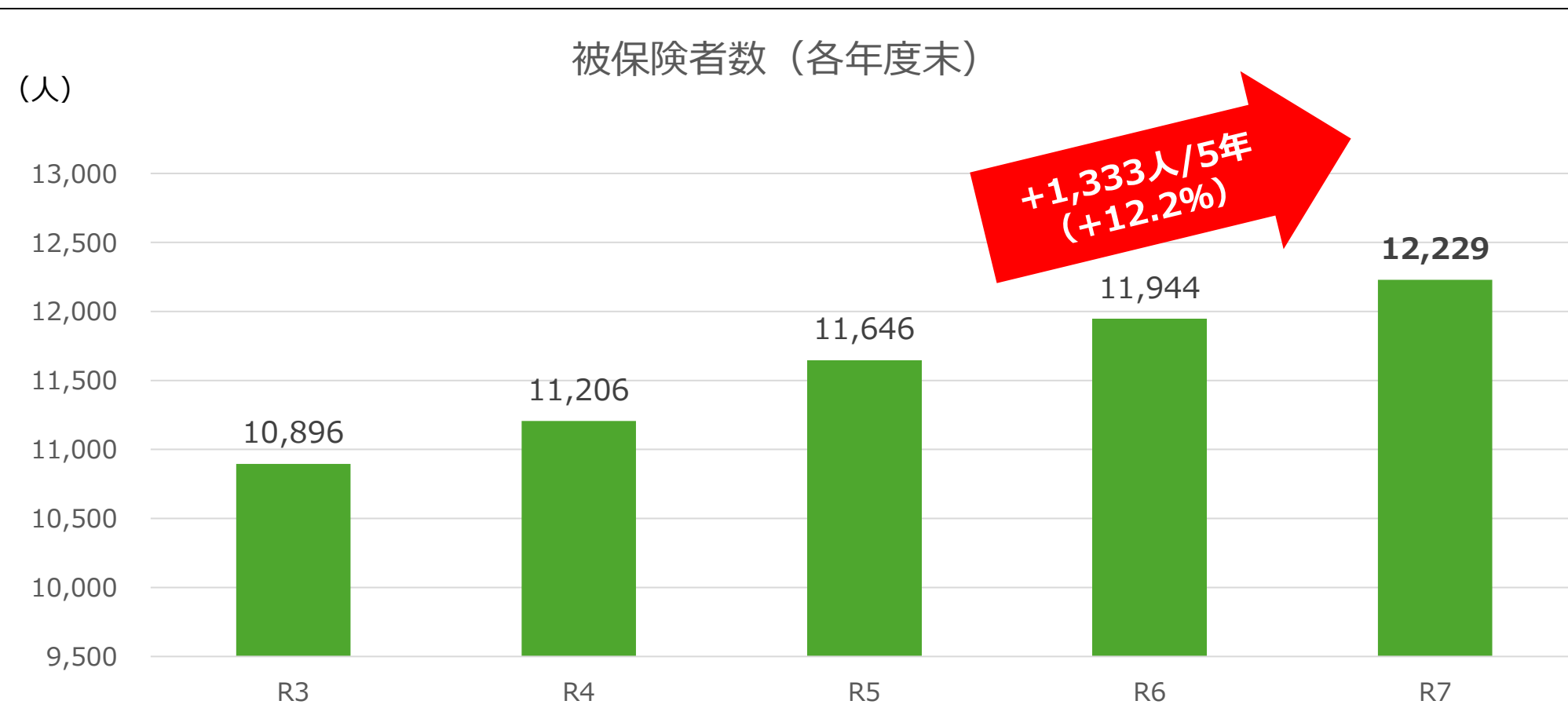
③ 保険料率

後期高齢者医療制度の保険料率は、2年ごとに料率の見直しが行われます。
令和6年度に料率改定があったため、令和7年度の保険料率は据え置きとなりました。

料 率 等	所得割率	均等割額	一人当たり保険料	賦課限度額
令和6・7年度	11.52%	57,012円	83,937円	80万円
令和4・5年度	10.34%	53,417円	75,853円	66万円

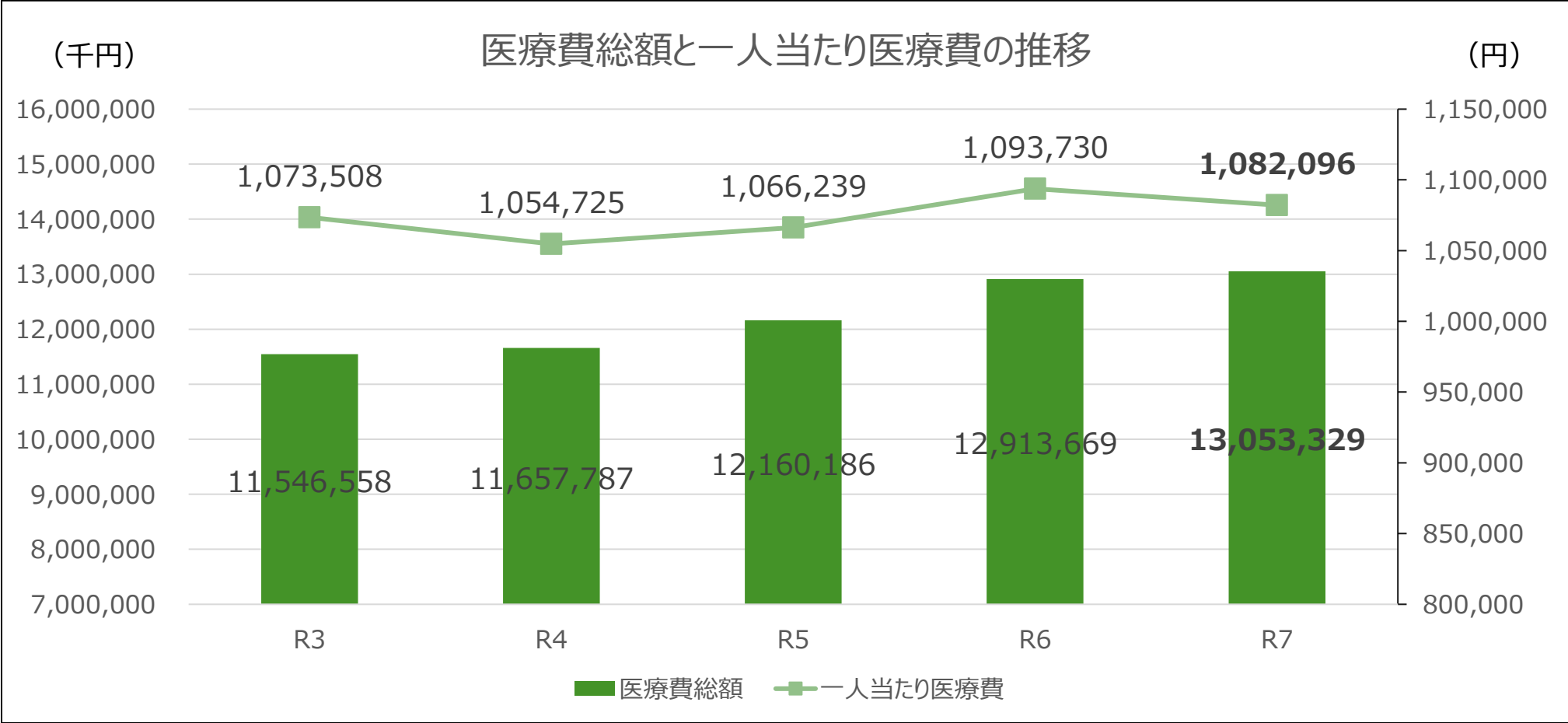
被保険者数の推移

令和7年度末の被保険者数は、**12,229人**となり、前年度から**285人（2.3%）**増加しました。また、令和3年度から令和7年度までの5年間で、**1,333人（12.2%）**増加しています。高齢化により後期高齢者医療制度への移行が進んでいることがわかります。



医療費の推移

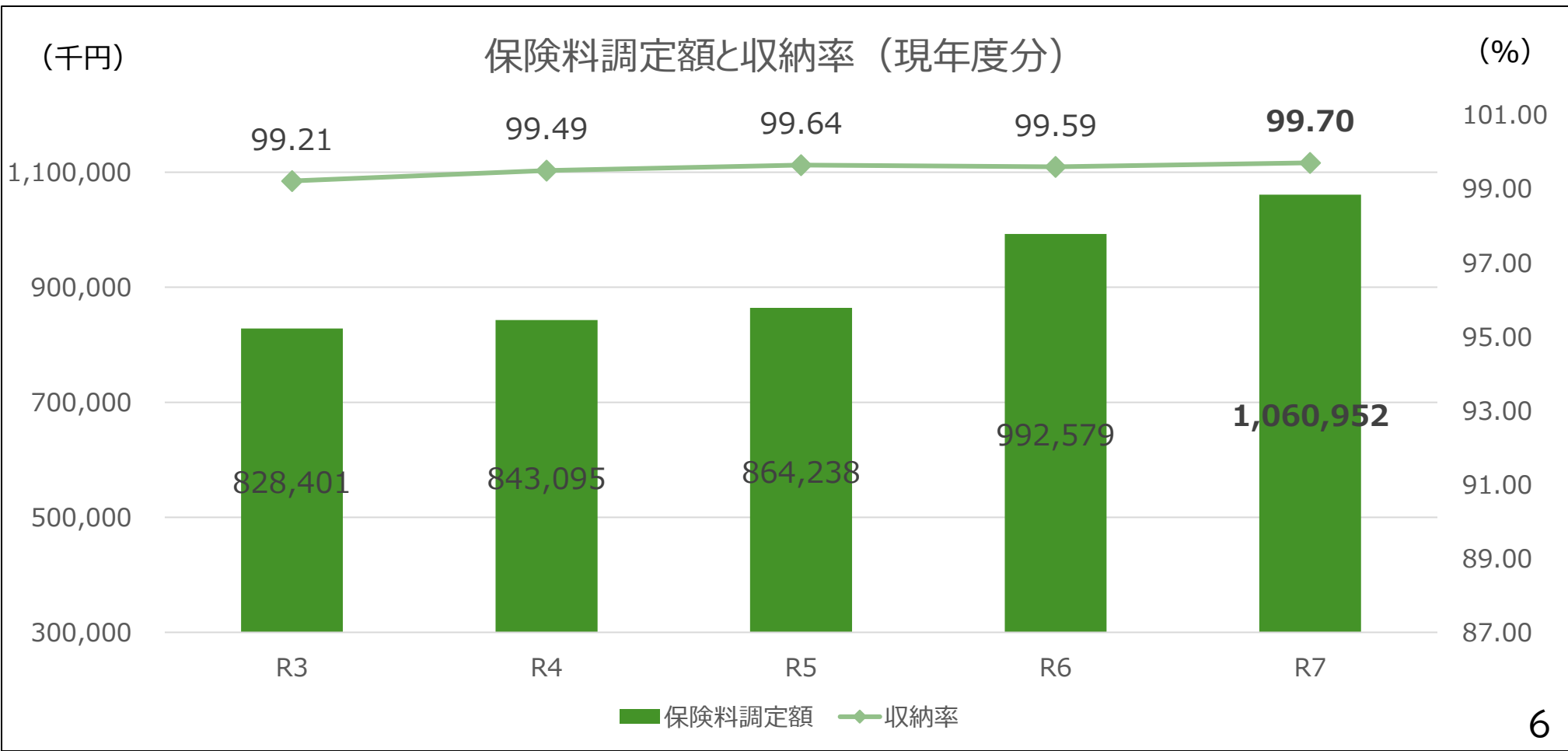
後期高齢者医療に係る医療費（入院、外来、歯科、調剤などの医療に要した費用の総額）は、コロナ感染拡大後の令和3年度以降、被保険者数の増加に伴い増加傾向にあります。また、一人当たりの医療費についても、年度によって増減はありますが、長期的にみると増加傾向にあります。



保険料調定額と収納率の推移

令和7年度の保険料調定額は、**1,060,952千円**となり、前年度から68,373千円の増となりました。これは、被保険者数の増加が主な要因と思われます。

令和7年度末の収納率は、**99.70%**となり、前年度より0.11ポイント増加し、99%後半の高い収納率を維持しています。



保険料の滞納状況等

＜滞納件数等（各年度5月31日現在）＞

年度	R5年度	R6年度	R7年度
滞納件数	85件	102件	91件
滞納金額	6,617,465円	7,370,103円	6,229,994円

＜短期証・資格証・特別療養費の対象件数（各年度5月31日現在）＞

年度	R5年度	R6年度	R7年度
短期被保険者証	21件	－	－
資格証明書	－	－	－
特別療養費支給対象	－	0件	0件

R6. 12以降、マイナ保険証への移行に伴い、短期被保険者証・資格証明書は廃止され、特別療養費の支給の仕組みに変更となりました。

＜差押件数（各年度5月31日現在）＞

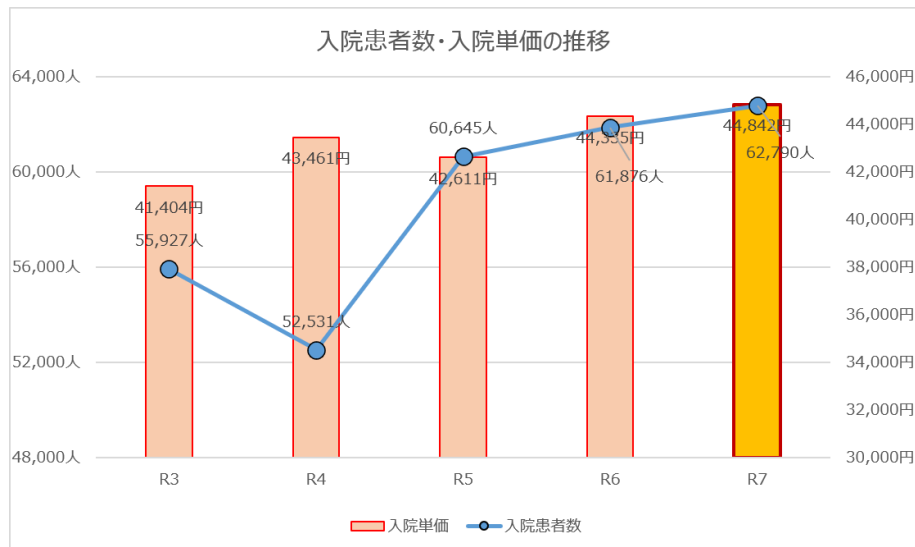
年度	R5年度	R6年度	R7年度
預金口座	13件	6件	4件
生命保険・年金等	6件	9件	8件
合計	19件	15件	12件
差押金額	1,999,918円	1,221,762円	839,938円

令和7年度山陽小野田市病院事業決算報告

1 患者動向

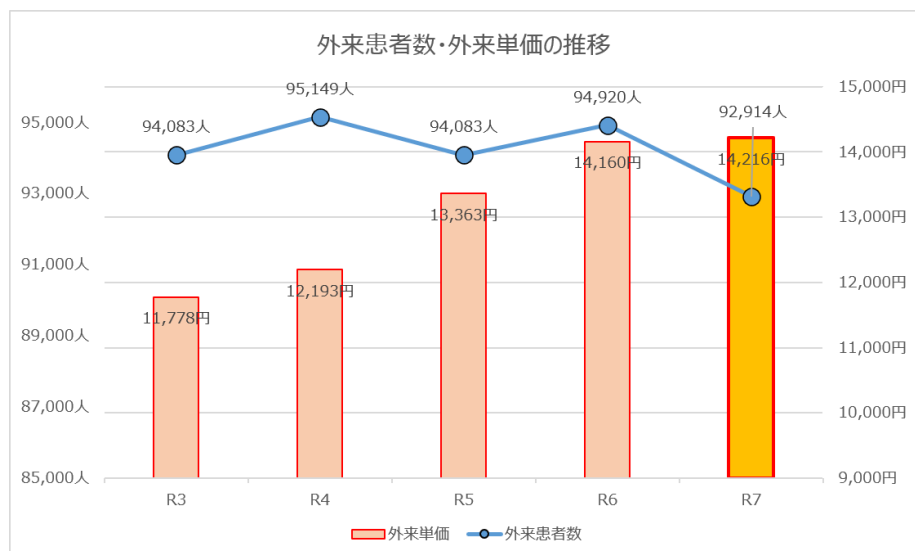
◇ 入院患者数・入院単価の推移

	R3	R4	R5	R6	R7
入院患者数	55,927人	52,531人	60,645人	61,876人	62,790人
1日当たり	153.2人	143.9人	165.7人	169.5人	172.0人
入院単価	41,404円	43,461円	42,611円	44,335円	44,842円
病床稼働率	71.3%	66.9%	80.5%	85.2%	86.4%



◆ 外来患者数・外来単価の推移

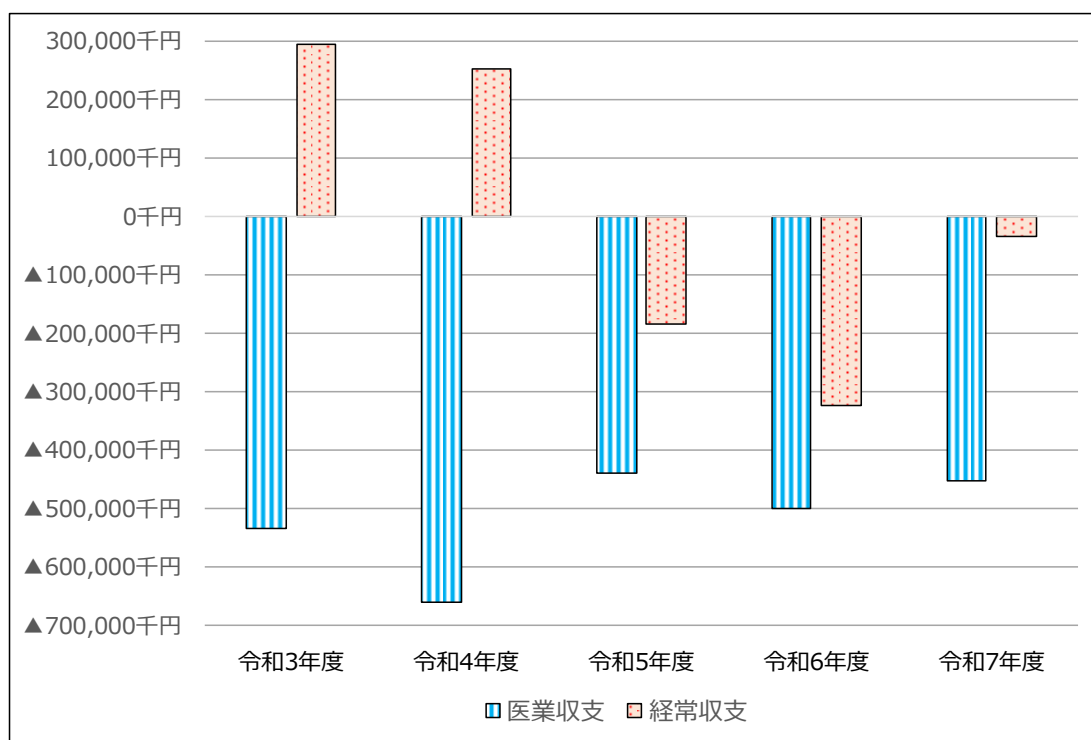
	R3	R4	R5	R6	R7
外来患者数	94,083人	95,149人	94,083人	94,920人	92,914人
1日当たり	388.8人	391.6人	387.1人	390.6人	383.9人
外来単価	11,778円	12,193円	13,363円	14,160円	14,216円



2 収支状況

(単位：円/税抜)

	R7年度	R6年度	前年度比較	増減率
医業収益	4,566,710,729	4,499,248,196	67,462,533	101.5%
入院収益	2,815,627,082	2,743,241,921	72,385,161	102.6%
外来収益	1,320,851,034	1,344,032,423	▲ 23,181,389	98.3%
その他	430,232,613	411,973,852	18,258,761	104.4%
医業費用	5,018,359,601	4,998,228,980	20,130,621	100.4%
うち給与費	2,848,640,673	2,725,784,903	122,855,770	104.5%
うち材料費	920,719,194	1,002,700,911	▲ 81,981,717	91.8%
うち経費	771,788,730	797,930,568	▲ 26,141,838	96.7%
うち減価償却費	425,986,669	422,342,224	3,644,445	100.9%
医業収支	▲ 451,648,872	▲ 498,980,784	47,331,912	
医業外収益	628,783,163	442,562,042	186,221,121	142.1%
医業外費用	201,351,306	241,817,865	▲ 40,466,559	83.3%
医業外収支	427,431,857	200,744,177	226,687,680	
訪問看護ステーション事業収益	22,021,222	17,015,054	5,006,168	129.4%
訪問看護ステーション事業費用	32,504,754	43,083,868	▲ 10,579,114	75.4%
訪問看護ステーション収支	▲ 10,483,532	▲ 26,068,814	15,585,282	
経常収支	▲ 34,700,547	▲ 324,305,421	289,604,874	
特別利益	2,399,634	0	2,399,634	皆増
特別損失	220,710	374,613	▲ 153,903	58.9%
当年度純損益	▲ 32,521,623	▲ 324,680,034	292,158,411	
参考：一般会計繰入金	492,674,182	367,611,829	125,062,353	134.0%

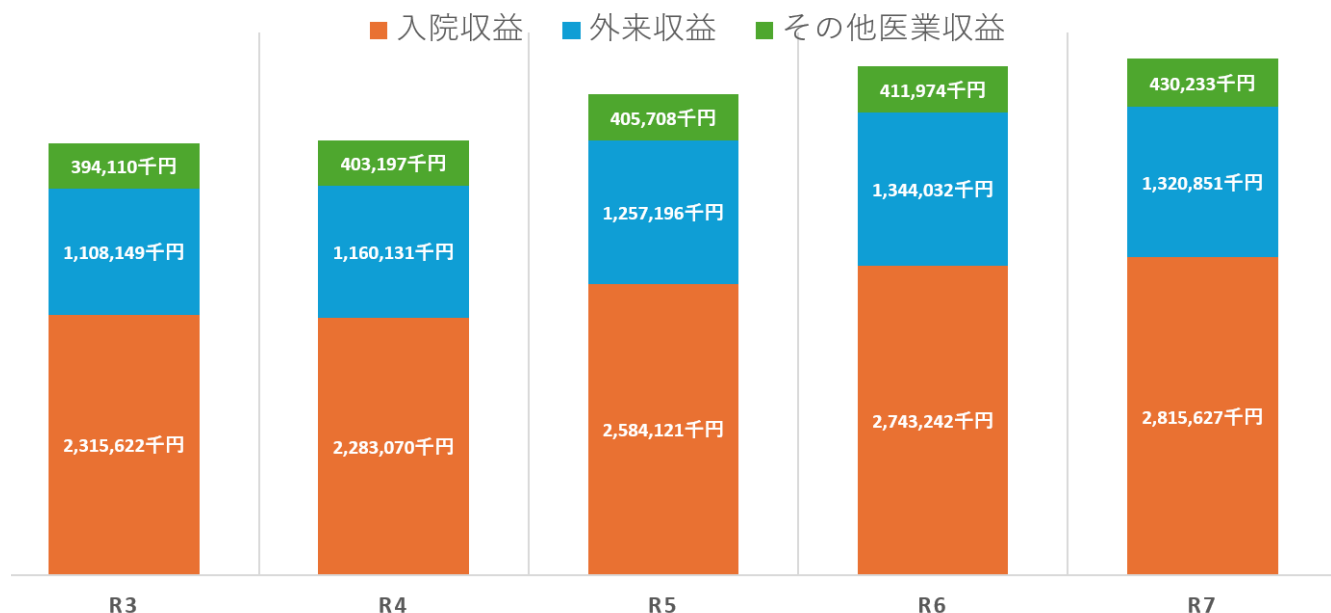


年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医業収支	▲534,775千円	▲660,883千円	▲438,411千円	▲498,981千円	▲451,649千円
経常収支	294,726千円	253,895千円	▲185,068千円	▲324,305千円	▲34,701千円

◇ 医業収益の推移

(税抜 単位：千円)

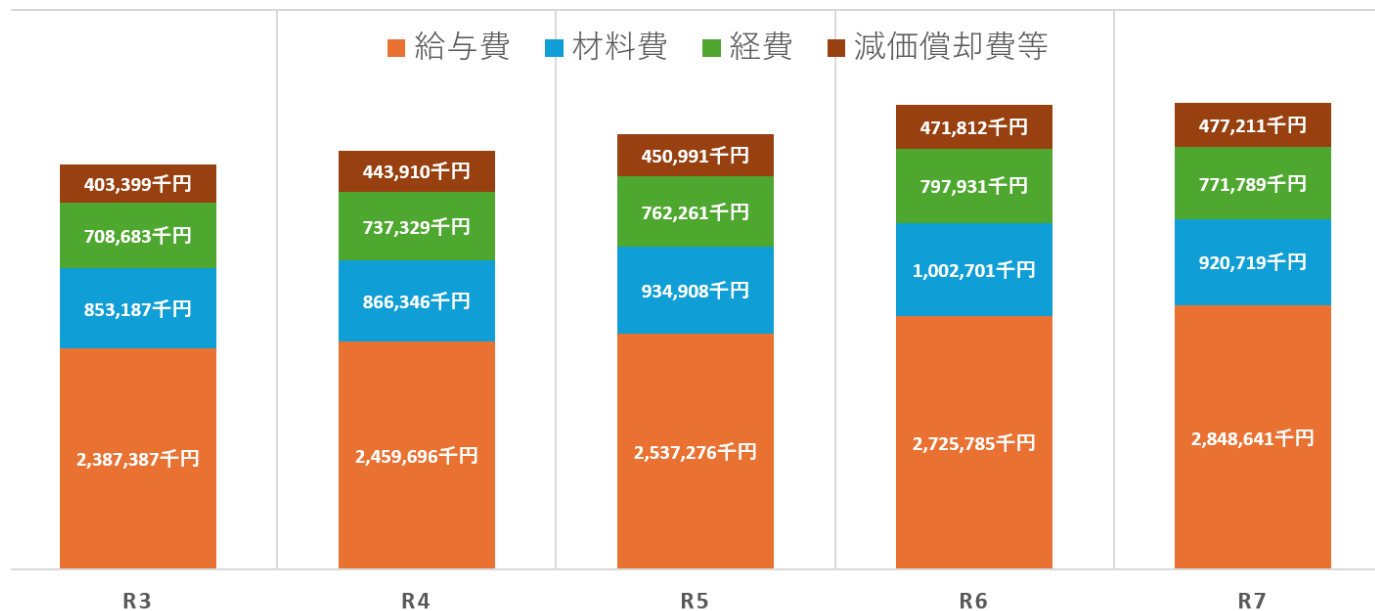
	R3	R4	R5	R6	R7
入院収益	2,315,622千円	2,283,070千円	2,584,121千円	2,743,242千円	2,815,627千円
外来収益	1,108,149千円	1,160,131千円	1,257,196千円	1,344,032千円	1,320,851千円
その他医業収益	394,110千円	403,197千円	405,708千円	411,974千円	430,233千円
医業収益	3,817,881千円	3,846,398千円	4,247,025千円	4,499,248千円	4,566,711千円



◆ 医業費用の推移

(税抜 単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7
給与費	2,387,387千円	2,459,696千円	2,537,276千円	2,725,785千円	2,848,641千円
材料費	853,187千円	866,346千円	934,908千円	1,002,701千円	920,719千円
経費	708,683千円	737,329千円	762,261千円	797,931千円	771,789千円
減価償却費等	403,399千円	443,910千円	450,991千円	471,812千円	477,211千円
医業費用	4,352,656千円	4,507,281千円	4,685,436千円	4,998,229千円	5,018,360千円



3 資本の収支

(単位：円/税込)

	R7年度	R6年度	前年度比較	増減率
資本の収入	234,942,910	241,639,153	▲ 6,696,243	97.23%
企業債	75,400,000	73,200,000	2,200,000	103.01%
他会計負担金	152,942,910	168,029,153	▲ 15,086,243	91.02%
補助金	6,600,000	410,000	6,190,000	1609.76%
資本の支出	493,784,598	470,589,635	23,194,963	104.93%
建設改良費	101,539,174	92,269,572	9,269,602	110.05%
企業債償還金	392,245,424	378,320,063	13,925,361	103.68%
差引不足額	▲ 258,841,688	▲ 228,950,482	▲ 29,891,206	

(補填財源内訳)

消費税等資本の収支調整額	382,287	366,208
過年度分損益勘定留保資金	258,459,401	228,584,274

4 企業債

(単位：円)

	R7年度	R6年度	前年度比較	増減率
期首残高	3,814,389,404	4,119,509,467	▲ 305,120,063	92.6%
借入額	75,400,000	73,200,000	2,200,000	103.0%
償還額	392,245,424	378,320,063	13,925,361	103.7%
期末残高	3,497,543,980	3,814,389,404	▲ 316,845,424	91.7%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.1月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～1月) (A)	R7当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	176人	171人	174人	98.2%
	外来1日平均	405人	385人	396人	97.2%
	入院患者数	5,451人	52,242人	63,428人	82.4%
	外来患者数	7,698人	78,185人	95,832人	81.6%
病 床 稼 働 率		88.3%	85.8%	87.3%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	254,596千円	2,362,797千円	2,871,295千円	82.3%
	外 来	116,008千円	1,124,379千円	1,367,312千円	82.2%
	計 (A)	370,604千円	3,487,176千円	4,238,607千円	82.3%
医 業 費 用	職員給与費	236,462千円	2,348,308千円	2,763,415千円	85.0%
	材 料 費	75,100千円	771,344千円	1,043,371千円	73.9%
	経費ほか	62,008千円	637,941千円	820,341千円	77.8%
	減価償却費等	39,170千円	391,700千円	470,037千円	83.3%
	計 (B)	412,740千円	4,149,293千円	5,097,164千円	81.4%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	89.8%	84.0%	83.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

83.3%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.2月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～2月) (A)	R7当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	184人	172人	174人	98.8%
	外来1日平均	385人	385人	396人	97.3%
	入院患者数	5,145人	57,387人	63,428人	90.5%
	外来患者数	6,938人	85,123人	95,832人	88.8%
病 床 稼 働 率		92.4%	86.3%	87.3%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	210,415千円	2,573,212千円	2,871,295千円	89.6%
	外 来	88,342千円	1,212,721千円	1,367,312千円	88.7%
	計 (A)	298,757千円	3,785,933千円	4,238,607千円	89.3%
医 業 費 用	職員給与費	235,988千円	2,584,296千円	2,763,415千円	93.5%
	材 料 費	70,886千円	842,230千円	1,043,371千円	80.7%
	経費ほか	58,485千円	696,426千円	820,341千円	84.9%
	減価償却費等	39,170千円	430,870千円	470,037千円	91.7%
	計 (B)	404,529千円	4,553,822千円	5,097,164千円	89.3%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	73.9%	83.1%	83.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

91.7%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.3月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～3月) (A)	R7補正予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	174人	172人	172人	99.8%
	外来1日平均	371人	384人	381人	100.8%
	入院患者数	5,403人	62,790人	62,913人	99.8%
	外来患者数	7,791人	92,914人	92,202人	100.8%
病 床 稼 働 率		87.6%	86.4%	86.6%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	242,415千円	2,815,627千円	2,829,839千円	99.5%
	外 来	108,130千円	1,320,851千円	1,332,136千円	99.2%
	計 (A)	350,545千円	4,136,478千円	4,161,975千円	99.4%
医 業 費 用	職員給与費	264,345千円	2,848,641千円	2,855,927千円	99.7%
	材 料 費	78,489千円	920,719千円	1,018,920千円	90.4%
	経費ほか	81,092千円	777,518千円	825,551千円	94.2%
	減価償却費等	40,612千円	471,482千円	471,234千円	100.1%
	計 (B)	464,538千円	5,018,360千円	5,171,632千円	97.0%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	75.5%	82.4%	80.5%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

100.0%

令和8年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.4月分)

項 目		当 月	累 計 (4月) (A)	R8当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	174人	174人	175人	99.3%
	外来1日平均	366人	366人	383人	95.4%
	入院患者数	5,223人	5,223人	64,002人	8.2%
	外来患者数	7,675人	7,675人	92,303人	8.3%
病 床 稼 働 率		87.5%	87.5%	88.1%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	230,641千円	230,641千円	2,963,830千円	7.8%
	外 来	108,561千円	108,561千円	1,360,268千円	8.0%
	計 (A)	339,202千円	339,202千円	4,324,098千円	7.8%
医 業 費 用	職員給与費	240,476千円	240,476千円	2,981,257千円	8.1%
	材 料 費	85,243千円	85,243千円	1,001,192千円	8.5%
	経費ほか	59,700千円	59,700千円	874,036千円	6.8%
	減価償却費等	39,226千円	39,226千円	470,711千円	8.3%
	計 (B)	424,645千円	424,645千円	5,327,196千円	8.0%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	79.9%	79.9%	81.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

8.3%

令和8年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.5月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～5月) (A)	R8当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	176人	175人	175人	99.8%
	外来1日平均	388人	376人	383人	98.1%
	入院患者数	5,445人	10,668人	64,002人	16.7%
	外来患者数	6,978人	14,653人	92,303人	15.9%
病 床 稼 働 率		88.2%	87.9%	88.1%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	234,207千円	464,848千円	2,963,830千円	15.7%
	外 来	101,746千円	210,307千円	1,360,268千円	15.5%
	計 (A)	335,953千円	675,155千円	4,324,098千円	15.6%
医 業 費 用	職員給与費	240,018千円	480,494千円	2,981,257千円	16.1%
	材 料 費	65,744千円	150,987千円	1,001,192千円	15.1%
	経費ほか	63,879千円	123,579千円	874,036千円	14.1%
	減価償却費等	39,226千円	78,452千円	470,711千円	16.7%
	計 (B)	408,867千円	833,512千円	5,327,196千円	15.6%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	82.2%	81.0%	81.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

16.7%

令和8年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R8.6月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～6月) (A)	R8当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	171人	174人	175人	99.1%
	外来1日平均	366人	372人	383人	97.2%
	入院患者数	5,142人	15,810人	64,002人	24.7%
	外来患者数	8,051人	22,704人	92,303人	24.6%
病 床 稼 働 率		86.1%	87.3%	88.1%	
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	255,510千円	720,358千円	2,963,830千円	24.3%
	外 来	116,320千円	326,627千円	1,360,268千円	24.0%
	計 (A)	371,830千円	1,046,985千円	4,324,098千円	24.2%
医 業 費 用	職員給与費	267,898千円	748,392千円	2,981,257千円	25.1%
	材 料 費	80,395千円	231,382千円	1,001,192千円	23.1%
	経費ほか	61,368千円	184,947千円	874,036千円	21.2%
	減価償却費等	39,226千円	117,678千円	470,711千円	25.0%
	計 (B)	448,887千円	1,282,399千円	5,327,196千円	24.1%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	82.8%	81.6%	81.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

25.0%

令和7年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	過年度未収金	342,057	341,930	17,075	18,997	190	309	116	114	138	63	228	55
	医業収益	41,335	56,150	349,674	349,674	339,417	380,347	395,461	371,431	355,355	357,972	369,536	397,563
	医業外収益	256	1,632	1,293	1,027	1,409	2,080	3,459	8,950	2,471	952	1,352	2,957
	他会計繰入金			200,000					200,000		100,000		130,000
	預り金	37,204	41,768	97,692	36,950	41,658	40,393	37,348	38,597	102,961	39,974	36,673	37,465
	企業債												75,400
	寄附金												
	その他	1,738	1,939	1,398	1,894	1,890	2,181	2,202	1,763	2,333	2,998	2,761	83,420
	前月繰越金	537,836	456,153	500,259	481,023	483,003	480,916	306,277	365,510	605,324	296,791	380,729	324,198
	合計(A)	960,426	899,572	1,167,391	889,565	867,567	906,226	744,863	986,365	1,068,582	798,750	791,279	1,051,058
支出	過年度未払金	206,705											
	人件費	235,799	187,492	462,440	185,889	176,368	191,402	177,993	172,790	528,305	186,583	186,104	181,195
	物件費	10,276	163,795	144,714	154,477	169,176	150,496	162,279	165,254	143,151	176,422	150,702	134,724
	建設改良費	12,765	8,950	5,850							9,690	2,861	7,623
	支払利息						19,004					180	18,237
	企業債等償還金						195,870					84,338	112,038
	長期借入金償還金												
	預り金	36,199	36,685	71,550	65,071	39,781	38,138	37,306	41,736	95,713	44,324	41,742	38,614
	その他	2,529	2,391	1,814	1,125	1,326	5,039	1,775	1,261	4,622	1,002	1,154	5,439
	合計(B)	504,273	399,313	686,368	406,562	386,651	599,949	379,353	381,041	771,791	418,021	467,081	497,870
	差引(A-B)	456,153	500,259	481,023	483,003	480,916	306,277	365,510	605,324	296,791	380,729	324,198	553,188
一時借入	借入額												
	返済額												
	合計(C)												
	一時借入金残高												
	月末残高(A-B+C)	456,153	500,259	481,023	483,003	480,916	306,277	365,510	605,324	296,791	380,729	324,198	553,188
	月間収支(※)	▲ 81,683	44,106	▲ 19,236	1,980	▲ 2,087	▲ 174,639	59,233	239,814	▲ 308,533	83,938	▲ 56,531	228,990

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A) - (B) - 前月繰越金」で算出します。

令和8年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	過年度未収金	339,079	325,345	1,047	0	0	0	0	0	0	0	0
	医業収益	40,821	54,329	362,772	0	0	0	0	0	0	0	0
	医業外収益	226	791	1,448	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計繰入金	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	預り金	40,254	38,367	102,792	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1,505	1,721	2,464	0	0	0	0	0	0	0	0
	前月繰越金	553,188	492,544	501,925	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489
	合計(A)	975,073	913,097	1,172,448	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489
支出	過年度未払金	201,166	1,320	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	198,711	183,079	493,578	0	0	0	0	0	0	0	0
	物件費	9,712	175,242	138,154	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設改良費	35,002	10,990	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債等償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	預り金	36,810	38,686	75,450	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1,128	1,855	6,777	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(B)	482,529	411,172	713,959	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引(A-B)	492,544	501,925	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489
一時借入	借入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	返済額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時借入金残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月末残高(A-B+C)	492,544	501,925	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489	458,489
	月間収支(※)	▲ 60,644	9,381	▲ 43,436	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A)-(B)-前月繰越金」で算出します。

山陽小野田市民病院経営会議概要 【令和8年3月～令和8年8月開催分】

開催状況	3/3・4/7・5/12・6/2・7/2・8/4
出席者	病院事業管理者、顧問、院長、副院長、診療部長、看護部長、薬剤部長、副看護部長、事務部長、事務部次長、医事課長、経営企画室参与ほか
主な協議内容	・各月の入院・外来患者数、病床稼働率、入院単価、新規入院患者数等の実績及び傾向分析 ・新規入院患者数の確保、救急患者・紹介患者の受入強化及び病床稼働率目標達成に向けた取組 ・地域の医療機関・開業医への訪問等による地域連携・紹介活動の強化 ・診療科名細分化標ぼうについて ・基本理念・基本方針及び令和8年度病院目標の整理、各部門目標の策定について
その他報告事項等	・令和7年度決算及び令和8年度の月次収支・年度収支見込みについて ・診療報酬改定による入院・外来単価及び収益への影響について ・各病棟の病床稼働率、救急受入件数、透析件数・透析稼働率の状況について ・手術件数、薬剤管理指導料、栄養指導、入退院支援加算等の診療実績について ・電子カルテ上での病床稼働状況及び入院予定患者表示機能の運用開始について ・病院機能評価更新に向けた受審準備及び令和8年9月30日の模擬審査実施について ・経営会議規程の改正及び組織体制の見直しについて ・火災警報装置作動事案を踏まえた加熱機器使用時の注意喚起等について



山 総 第 1 2 5 3 号

令和8年（2026年）8月19日

山陽小野田市議会議長 高 松 秀 樹 様

山陽小野田市長 藤 田 剛 二



専決処分の報告について

地方自治法第180条第1項の規定により、令和2年山陽小野田市議会告示第1号において指定されている事項について、令和8年7月16日付けで別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告します。



専 決 処 分 書

- 1 専決処分事項 議会の議決を経て締結した工事の請負契約について、議決を経た契約金額の5%の額(その額が1,000万円を超えるときは、1,000万円)以下の範囲内で変更することについて
- 2 契 約 件 名 小野田地区保育所整備事業(建築・機械設備工事)
- 3 変 更 理 由 交通誘導員人数、機械設備の仕様、アスファルト防水仕様の変更等について工事内容の変更が生じた。
これにより、変更に係る請負金額の増額について専決処分するもの。
- 4 変 更 金 額 請負契約金額「1,308,670,000円」を「1,313,400,000円」とする。
- 5 契約の相手方 住 所 山陽小野田市大字西高泊631番地の11
件 名 小野田地区保育所整備事業(建築・機械設備工事)アーステクノ・嶋田工業特定建設工事共同企業体
株式会社アーステクノ
代表取締役 松山 広志